

2024年11月7日

報道関係各位

株式会社カネカ

IR・広報 (Investors & Public Relations) 部

カネカ 北海道に医療用カテーテル新プラントを新設
ー約 100 億円を投資 グローバルに Medical 事業を拡大ー

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：藤井 一彦）は、今年 8 月に竣工した血液浄化器プラントに次いで北海道の苫東工場*1内にカテーテルの新プラント建設を決定しました。グループ会社である株式会社カネカメディックス*2（本社：大阪府大阪市、社長：石坂 昌三）が出資し、投資金額は約 100 億円、2027 年 3 月の稼働を予定しています。

当社は、心臓・末梢血管疾患および脳血管疾患の治療デバイスである血管内治療用カテーテルや、がんをはじめとする消化管疾患の治療に用いる消化器用医療機器、不整脈治療に用いる検査・治療用の医療機器など、幅広い診療分野でカテーテル事業をグローバルに展開しています。この度のカテーテルプラントの新設により、生産能力は現状の約 2 倍になります。

先進国を中心に高齢化が世界的に進行し、三大疾病（心疾患、脳疾患、がん）の患者数が増加しています。医療用カテーテルを用いた手術は、患者への負担が少ない低侵襲な治療法であることから、グローバルに市場規模が拡大しています。これらの旺盛な需要に対し、陸・海・空のアクセスが良好な北海道の苫東地域から競争力のある製品をグローバルに提供することで事業を拡大し、2030 年に Health Care Solutions Unit で 3,000 億円の売上を目指します。

新プラントは IoT や AI、ロボットなどの先端技術やビッグデータを活用した「スマートファクトリー」であり、ラインを自動化したフィールドオペレーションゼロの無人工場を実現します。また、当社の太陽電池を用いて、工場建物の一次エネルギー消費量をゼロにする「ゼロエネルギーファクトリー」を実現する計画であり、サステナブルなものづくりを推進します。

当社は、「カネカは世界を健康にする。KANEKA thinks “Wellness First”。」という考えのもと、すべての人に先端医療が当たり前になる世界、地球環境と生活の革新にカガクが貢献する世界を実現します。苫東の地から、「夢見る工場、カネカ」が叶えます。

以上



バルーンカテーテル製品例

*1. 2024年8月28日ニュースリリース

カネカ 北海道に医療機器プラントを竣工 –54年ぶりの国内新事業場 苫東工場–

<https://www.kaneka.co.jp/topics/news/2024/nr202408281.html>

*2. カネカメディックスは、カテーテル事業への事業展開を目指して1993年に設立した会社です。カネカグループが製造販売する医療機器の全製品を販売する主力会社で、カテーテル製品の製造も担っています。